



PRESS RELEASE

2015年1月26日

マレーシアでLNGコンプレックスの拡張プロジェクトを受注

日揮株式会社

日揮株式会社（JGC CORPORATION）（代表取締役会長 佐藤雅之、横浜本社 横浜市西区みなとみらい2-3-1）は、当社グループ会社のJGCマレーシア社とコンソーシアムを組み、マレーシア国営石油公社が同国サラワク州ビンツルで進めるペトロナス LNG コンプレックスの拡張プロジェクトに係わるEPCC役務を受注することが内定しましたので、お知らせいたします。プロジェクトの詳細は、下記の通りです。

記

1. 契約先： ペトロナス・エルエヌジー9社（PETRONAS LNG 9 Sdn. Bhd.）
（マレーシア国営石油公社（ペトロナス社）の子会社）
2. 建設場所： マレーシア国サラワク州ビンツル（Bintulu, Sarawak, Malaysia）
3. 契約： ペトロナス LNG コンプレックスの貯蔵・出荷設備拡充に係わる設計、機材調達、建設工事および試運転（EPCC：Engineering, Procurement, Construction and Commissioning）
役務
4. 契約形態： ランプサム契約
5. 受注金額： 約600億円
6. 納期： 非公表
7. プロジェクトの概要：

本プロジェクトは、世界最大級のLNG生産基地であるペトロナス LNG コンプレックス（現在8系列のLNGプラントが稼働しており、総生産量は年間2,500万トン）の拡張プロジェクトです。

当社が今回受注した役務は、既設の6基のLNGタンクおよび建設中の7基目のLNGタンクからLNG出荷設備までを結ぶ配管およびその他の付帯設備に係わるEPC役務です。また、既存のLNGプラントの製品ラインと第9系列のLNGプラントの製品ラインを結ぶ配管の新設に係わるEPC役務も含まれます。

当社は、ペトロナスLNGコンプレックスにおいては、1980年代から既存の8系列および建設中の第9系列全てのLNGプラントに係わるEPC役務を遂行すると共に、プラント完成後も継続してLNGプラントの能力再生および増設・改造工事を遂行してきました。

本プロジェクトは、マレーシアのLNGの出荷をより安定化させ、同国の持続的な経済成長を支える重要なプロジェクトです。また、全LNG輸入量の15%以上を同国に依存している日本にとってもエネルギー安全保障上、大変有意義なプロジェクトと言えます。

当社は、ペトロナスLNGコンプレックスにて現在遂行している第9系列目のLNGプラント建設および第4、第5、第6系列のLNGプラント能力再生プロジェクトとともに、本プロジェクトも成功裏に完成させることを目指します。

当社は世界のLNGプラント全生産量のうちおよそ3分の1のLNGプラントの建設実績を有しております。運転中の既設プラント敷地内での増設・改造分野のニーズは今後世界的に増えていくものと予測されます。同分野は工事安全管理能力がより強く求められる分野でもあり、工事安全、衛生、環境（HSE）分野のトップコントラクターとして、そしてLNGのトップコントラクターとして、今後も積極的な営業活動を展開していく所存です。

以上

お問い合わせ先：日揮（株）広報・IR部

齊藤／星島

TEL 045-682-8026

E-mail: saito.takuya@jgc.com

hoshijima.ryosuke@jgc.com